

第4回21世紀成年者縦断調査 (国民の生活に関する継続調査) 結果の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
I 結婚の状況	3
1 独身者のこの3年間の結婚の状況	3
2 仕事をしていた女性の結婚後の就業継続	8
II 夫婦における子どもの出生の状況	9
1 この3年間の出生の状況	9
2 仕事をしていた妻の出産後の就業継続の有無	14
III 意欲の変化	17
1 独身者の結婚意欲の変化	17
2 夫婦の子どもをもつ意欲	21
参考	24
用語の定義	26

第4回21世紀成年者縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<http://www.mhlw.go.jp/>)

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成14年を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成14年10月末時点で20～34歳であった全国の男女（及びその配偶者）を対象とし、そのうち、第3回調査において協力を得られた者等（及びその配偶者）を客体とした。

3 調査の実施日

平成17年11月 2日（水）

4 調査の事項

- (1) 男性票 …… 仕事の有無、就業形態、就業時間、配偶者の有無、独身者の結婚意欲、子どもをもつ意欲、家事・育児時間、親との同居の有無等
- (2) 女性票 …… 仕事の有無、就業形態、就業時間、仕事と子育ての両立支援制度の状況、配偶者の有無、独身者の結婚意欲、子どもをもつ意欲、親との同居の有無、子どもの状況等
- (3) 配偶者票（男性用） …… 仕事の有無、家事・育児時間等
- (4) 配偶者票（女性用） …… 仕事の有無、就業形態、就業時間、仕事と子育ての両立支援制度の状況、子どもの状況等

5 調査の方法

- (1) 調査員があらかじめ配布した調査票に被調査者が自ら記入し、密封したものを後日調査員が回収する方法により行った。
- (2) 第1回調査以降に転出した者は、厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

6 調査の系統

- (1) 厚生労働省 ———— 都道府県 ————— 保健所 ———— 調査員 ———— 被調査者
 ┌── 保健所設置市 ──┐
 特別区
- (2) 厚生労働省 ————— 被調査者
 郵送

7 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりであった。

なお、本概況における集計客体数とは、調査客体となって以降、継続して集計可能である客体をいう。

調査票の種類	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	10,908	9,509	8,456
女性票	11,517	10,207	9,227
配偶者票（男性用）	2,185	2,027	1,289
配偶者票（女性用）	949	865	395
計	25,559	22,608	19,367

また、集計区分ごとの客体数は以下のとおりである。

	男性票	女性票	配偶者票 （男性用）	配偶者票 （女性用）
第1回から第4回まで回答を得られている 男性票、女性票	8,456	9,227	—	—
第1回の独身者 第1回調査時に独身で第4回まで回答を得られている者	(5,598)	(5,294)	—	—
第1回からの独身者 第1回調査時に独身で第4回まで回答を得られており、結婚をしていない者	(4,906)	(4,438)		
第1回からの夫婦 第1回から第4回まで夫、妻とも回答を得られている夫婦	(2,444)	(3,292)	1,020	172
第2回からの夫婦 第1回調査時に独身で、第1回から第2回間に結婚し第4回まで夫、妻ともに回答を得られている夫婦	(102)	(130)	129	101
第3回からの夫婦 第1回調査時に独身で、第2回から第3回間に結婚し第4回まで夫、妻ともに回答を得られている夫婦	(124)	(142)	140	122

注：（ ）内は、「第1回から第4回まで回答を得られている男性票、女性票」に含まれる。

8 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
比率が微小（0.05未満）の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(3) この概況に掲載の数値には、統計数が僅少のため利用する際に注意が必要なものが含まれる。

結果の概要

I 結婚の状況

1 独身者のこの3年間の結婚の状況

(1) 結婚の状況

第1回の独身者は、この3年間で、男性12.4%、女性16.2%が結婚した。

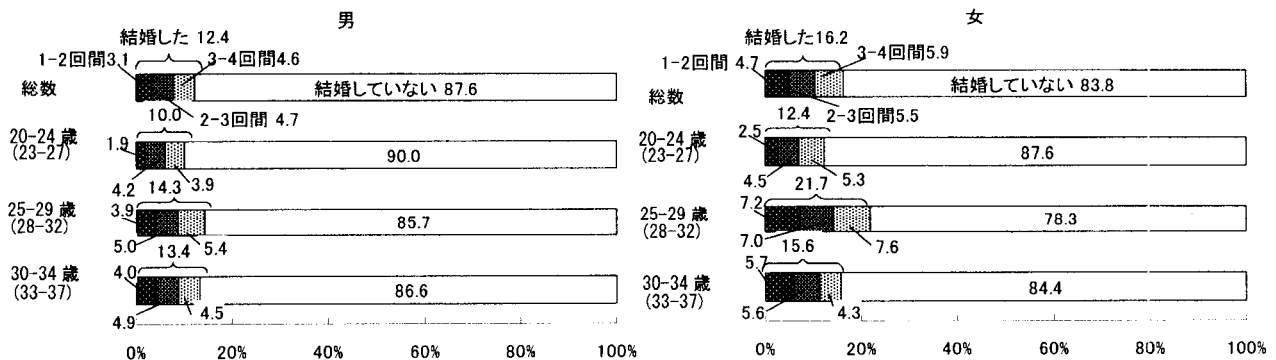
第1回の独身者のうち、男は、この1年間で4.6%が結婚し、この3年間で結婚したのは12.4%となった。女はこの1年間で5.9%が結婚し、この3年間では16.2%となった。男女とも、第1回の年齢が25～29歳の階級が結婚した割合が最も高く、男14.3%、女21.7%となっている。(表1、図1)

表1 性、年齢階級別にみたこの3年間の結婚の状況

		第1回配偶者の有無				この3年間の結婚の状況					
		総数	配偶者あり	配偶者なし	結婚した				結婚していない		
					第1回から第2回間	第2回から第3回間	第3回から第4回間				
第1回の年齢階級 (内は第4回)	男	(100.0)	100.0	32.5	66.2	8.2	2.1	3.1	3.0	58.0	
	20～24歳(23～27)	(28.1)	100.0	4.7	94.1	9.4	1.8	4.0	3.7	84.7	
	25～29歳(28～32)	(33.4)	100.0	27.2	71.3	10.2	2.8	3.6	3.8	61.1	
	30～34歳(33～37)	(38.5)	100.0	57.5	41.4	5.6	1.7	2.0	1.9	35.8	
	女	(100.0)	100.0	41.7	57.4	9.3	2.7	3.2	3.4	48.1	
	20～24歳(23～27)	(28.6)	100.0	6.3	93.0	11.5	2.3	4.2	5.0	81.5	
	25～29歳(28～32)	(32.0)	100.0	38.3	60.9	13.2	4.4	4.2	4.6	47.7	
	30～34歳(33～37)	(39.4)	100.0	70.2	28.7	4.5	1.7	1.6	1.2	24.2	
						[100.0]	[12.4]	[3.1]	[4.7]	[4.6]	[87.6]
						[100.0]	[10.0]	[1.9]	[4.2]	[3.9]	[90.0]
						[100.0]	[14.3]	[3.9]	[5.0]	[5.4]	[85.7]
						[100.0]	[13.4]	[4.0]	[4.9]	[4.5]	[86.6]
					[100.0]	[16.2]	[4.7]	[5.5]	[5.9]	[83.8]	
					[100.0]	[12.4]	[2.5]	[4.5]	[5.3]	[87.6]	
					[100.0]	[21.7]	[7.2]	[7.0]	[7.6]	[78.3]	
					[100.0]	[15.6]	[5.7]	[5.6]	[4.3]	[84.4]	

- 注: 1) 集計対象は、第1回から第4回まで回答を得られている者である。
 2) 「結婚した」には、この3年間に、結婚した後離婚した者を含む。
 3) 第1回配偶者の有無の総数には、配偶者の有無不詳を含む。
 4) []内は、第1回で配偶者なしであった者を総数としたこの3年間の結婚の状況である。
 5) 3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図1 独身者のこの3年間の結婚の状況



- 注: 1) 集計対象は、第1回から第4回まで回答を得られている者である。
 2) 「結婚した」にはこの3年間に、結婚した後離婚した者を含む。
 3) 年齢は、第1回の年齢である。()内は第4回の年齢である。
 4) 3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

(2) 親との同居の有無別にみた状況

男女ともに、親と同居している場合よりも親と同居していない場合の方が、「結婚した」の割合が高い傾向がある。

第1回の独身者について、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第3回の親との同居の有無別に、この3年間の結婚の状況をみた。親と同居していない場合は男18.5%、女18.7%が結婚しており、親と同居している場合には男11.5%、女16.0%が結婚している。

年齢階級26～30歳では、親と同居していない場合に男24.8%、女25.6%が結婚しており、親と同居している場合には男12.6%、女19.7%が結婚している。(表2、図2)

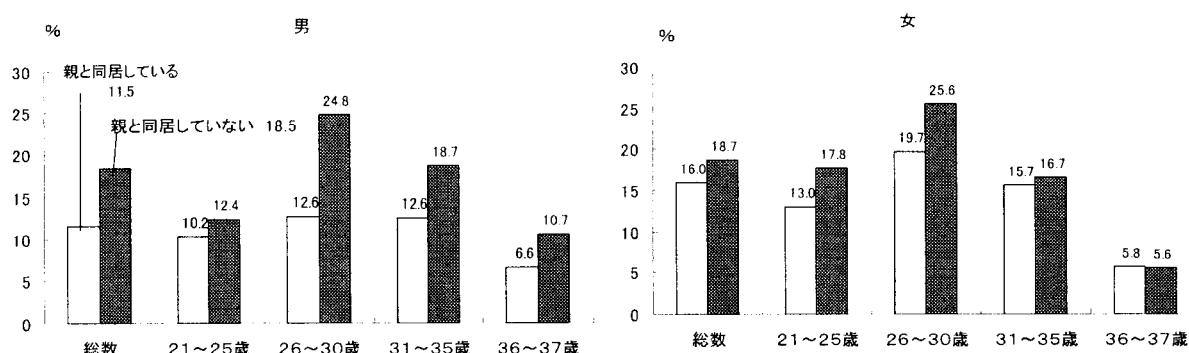
表2 性、年齢階級、親との同居の有無別にみたこの3年間の結婚の状況

(単位：%)

		男			女				
		総数	結婚した	結婚していない	総数	結婚した	結婚していない		
親との同居の有無	総数	(100.0)	100.0	12.4	87.6	(100.0)	100.0	16.2	83.8
	親と同居している	(77.5)	100.0	11.5	88.5	(81.6)	100.0	16.0	84.0
	親と同居していない	(13.6)	100.0	18.5	81.5	(12.9)	100.0	18.7	81.3
	21～25歳	(100.0)	100.0	10.3	89.7	(100.0)	100.0	13.4	86.6
	親と同居している	(79.0)	100.0	10.2	89.8	(83.3)	100.0	13.0	87.0
	親と同居していない	(12.5)	100.0	12.4	87.6	(11.1)	100.0	17.8	82.2
	26～30歳	(100.0)	100.0	14.2	85.8	(100.0)	100.0	20.1	79.9
	親と同居している	(79.0)	100.0	12.6	87.4	(84.0)	100.0	19.7	80.3
	親と同居していない	(12.2)	100.0	24.8	75.2	(10.7)	100.0	25.6	74.4
	31～35歳	(100.0)	100.0	13.0	87.0	(100.0)	100.0	15.8	84.2
	親と同居している	(75.5)	100.0	12.6	87.4	(77.9)	100.0	15.7	84.3
	親と同居していない	(15.6)	100.0	18.7	81.3	(16.2)	100.0	16.7	83.3
36～37歳	(100.0)	100.0	7.8	92.2	(100.0)	100.0	5.4	94.6	
親と同居している	(72.6)	100.0	6.6	93.4	(71.7)	100.0	5.8	94.2	
親と同居していない	(17.1)	100.0	10.7	89.3	(22.9)	100.0	5.6	94.4	

- 注：1)集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者である。
 2)親との同居の有無は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第3回の状況である。
 3)年齢は、「結婚した」は結婚後の、「結婚していない」は第4回の年齢である。
 4)「親と同居している」とは、父母のうちいずれか1人でも同居している場合をいう。
 5)「結婚した」には、この3年間に結婚した後離婚した者を含む。
 6)総数、各年齢階級の総数には、親との同居の有無不詳を含む。
 7)3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図2 親との同居の有無別にみたこの3年間に結婚した割合



- 注：1)集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者である。
 2)親との同居の有無は、年齢は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第3回の状況である。
 3)年齢は、「結婚した」は結婚後の、「結婚していない」は第4回の年齢である。
 4)「親と同居している」とは、父母のうちいずれか1人でも同居している場合をいう。
 5)「結婚した」には、この3年間に結婚した後離婚した者を含む。
 6)3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

(3) 仕事の有無、一週間の就業時間別にみた状況

男性は、仕事が正規の場合 15.2%、非正規の場合 6.3%が、この3年間に結婚した。

第1回の独身者について、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第3回の仕事の有無別にこの3年間の結婚の状況をみた。

男は「仕事あり」の13.6%、「仕事なし」の4.4%が結婚した。仕事ありのうち、就業形態の正規・非正規別では、「正規」で15.2%、「非正規」で6.3%と、約2.5倍の開きがある。

また、女は、仕事の有無や就業形態別にみた結婚の状況は、男のような大きな違いはみられない。(表3、図3)

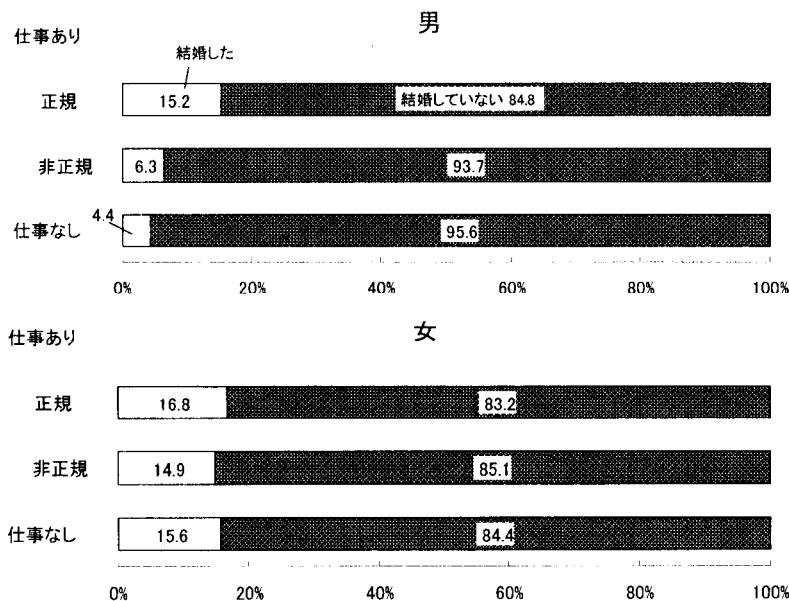
表3 性、仕事の有無別にみたこの3年間の結婚の状況

(単位：%)

		総数	結婚した	結婚していない	
仕事 の有 無	男	(100.0)	100.0	12.4	87.6
	仕事あり	(85.6)	100.0	13.6	86.4
	(再掲) 正規	(57.5)	100.0	15.2	84.8
	(再掲) 非正規	(16.4)	100.0	6.3	93.7
	仕事なし	(14.3)	100.0	4.4	95.6
	女	(100.0)	100.0	16.2	83.8
	仕事あり	(87.9)	100.0	16.2	83.8
(再掲) 正規	(52.1)	100.0	16.8	83.2	
(再掲) 非正規	(30.2)	100.0	14.9	85.1	
仕事なし	(12.1)	100.0	15.6	84.4	

- 注: 1) 集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者である。
 2) 仕事の有無は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第3回の状況である。
 3) 「結婚した」には、この3年間に、結婚した後離婚した者を含む。
 4) 「男」「女」には、仕事の有無不詳を含む。
 5) 3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図3 仕事の有無別にみたこの3年間の結婚の状況



- 注: 1) 集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者である。
 2) 仕事の有無は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第3回の状況である。
 3) 「結婚した」には、この3年間に、結婚した後離婚した者を含む。
 4) 3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

さらに、仕事ありであった者について、一週間の就業時間別にこの3年間の結婚の状況をみると、男は40時間以上が、40時間未満よりも「結婚した」の割合が高い。
また、女は就業時間による違いはみられない。(表4)

表4 性、一週間の就業時間別にみたこの3年間の結婚の状況

(単位：%)

		総数		結婚した	結婚していない
一週間の就業時間	男	(100.0)	100.0	13.6	86.4
	15時間未満	(4.0)	100.0	7.7	92.3
	15～34時間	(5.2)	100.0	6.0	94.0
	35～39時間	(3.2)	100.0	8.4	91.6
	40～48時間	(40.1)	100.0	15.7	84.3
	49～59時間	(17.1)	100.0	12.6	87.4
	60時間以上	(16.0)	100.0	15.2	84.8
	女	(100.0)	100.0	16.2	83.8
	15時間未満	(4.2)	100.0	14.4	85.6
	15～34時間	(8.0)	100.0	10.3	89.7
	35～39時間	(9.8)	100.0	19.3	80.7
	40～48時間	(45.3)	100.0	16.5	83.5
	49～59時間	(12.2)	100.0	12.2	87.8
	60時間以上	(5.6)	100.0	14.6	85.4

- 注:1) 集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得ている者で、「結婚した」は結婚前に仕事ありの、「結婚していない」は第3回に仕事ありの者である。
2) 一週間の就業時間は、「結婚した」は結婚前の、「結婚していない」は第3回の状況である。
3) 「結婚した」には、この3年間に、結婚した後離婚した者を含む。
4) 「男」「女」には、一週間の就業時間不詳を含む。
5) 3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

(4) 結婚の状況別にみた就業状況の変化

女性は49.8%が結婚後も同一就業を継続し、29.6%が離職をしている。男性は84.7%が結婚後も同一就業を継続している。

第1回の独身者について、この3年間の結婚の状況別に、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」はこの1年間の就業状況の変化をみた。

結婚した場合の「同一就業継続」は男84.7%、女49.8%、「離職」は男1.6%、女29.6%、結婚していない場合の「同一就業継続」は、男71.3%、女70.9%、「離職」は男4.3%、女4.6%となっている。

また、結婚の状況にかかわらず、男女ともに、年齢階級が高くなるに従って、「同一就業継続」の割合が高くなる傾向がある。(表5、図4)

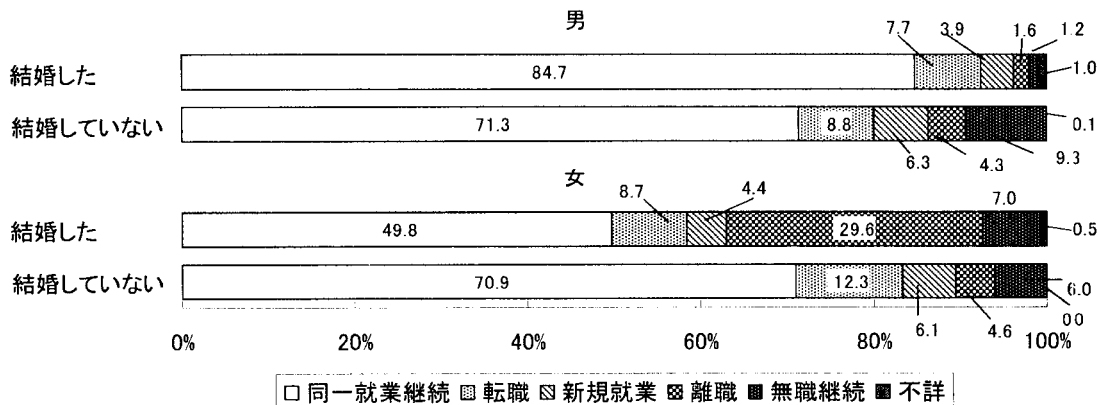
表5 性、この3年間の結婚の状況、年齢階級別にみた就業状況の変化

(単位：%)

		総数	同一就業継続		転職			新規就業	離職	無職継続	不詳		
			(再掲) 正規	(再掲) 非正規	(再掲) 正規から非正規	(再掲) 非正規から正規							
男	結婚した	(100.0)	100.0	84.7	66.2	6.1	7.7	0.3	0.6	3.9	1.6	1.2	1.0
	21～25歳	(21.2)	100.0	71.4	53.1	8.8	12.2	-	1.4	8.8	4.8	2.0	0.7
	26～30歳	(43.5)	100.0	86.0	67.4	5.0	7.3	0.3	0.7	3.7	0.3	1.0	1.7
	31～35歳	(30.3)	100.0	91.0	71.4	6.7	5.2	0.5	-	1.4	1.0	1.0	0.5
	36～37歳	(4.9)	100.0	91.2	79.4	-	5.9	-	-	-	2.9	-	-
	結婚していない	(100.0)	100.0	71.3	50.9	11.4	8.8	0.5	1.5	6.3	4.3	9.3	0.1
	23～25歳	(26.1)	100.0	56.8	36.5	14.5	12.6	0.3	3.6	10.5	7.1	12.9	0.1
	26～30歳	(37.1)	100.0	74.8	54.6	11.8	8.8	0.5	0.9	5.4	3.5	7.5	-
	31～35歳	(28.6)	100.0	77.7	57.6	8.9	6.5	0.6	0.8	4.1	3.1	8.6	0.1
	36～37歳	(8.2)	100.0	79.5	56.9	8.4	4.5	0.7	0.5	4.0	3.0	8.7	0.5
女	結婚した	(100.0)	100.0	49.8	33.8	12.6	8.7	2.3	0.6	4.4	29.6	7.0	0.5
	21～25歳	(24.4)	100.0	41.3	31.3	9.6	10.6	2.9	0.5	2.9	35.6	9.1	0.5
	26～30歳	(49.8)	100.0	51.3	37.4	10.8	8.0	2.1	0.5	5.2	28.7	6.4	0.5
	31～35歳	(23.9)	100.0	53.9	29.9	19.1	8.3	2.0	1.0	4.9	26.5	5.9	0.5
	36～37歳	(2.0)	100.0	64.7	23.5	17.6	5.9	5.9	-	-	17.6	11.8	-
	結婚していない	(100.0)	100.0	70.9	46.4	21.1	12.3	1.8	2.0	6.1	4.6	6.0	0.0
	23～25歳	(30.5)	100.0	65.4	44.5	18.3	15.3	2.4	4.1	9.1	4.8	5.4	0.1
	26～30歳	(38.2)	100.0	71.0	45.8	21.6	13.5	2.1	1.4	5.2	5.2	5.1	-
	31～35歳	(24.6)	100.0	76.0	48.8	22.9	8.3	0.9	0.7	4.5	3.6	7.6	0.1
	36～37歳	(6.7)	100.0	77.1	49.5	23.9	7.1	0.3	1.0	3.7	4.0	8.1	-

注:1) 集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者である。ただし、「結婚した」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 年齢は、「結婚した」は結婚後の、「結婚していない」は第4回の年齢である。
 3) 就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第3回から第4回にかけての就業状況の変化である。
 4) 3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図4 この3年間の結婚の状況別にみた就業状況の変化



注:1) 集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者である。ただし、「結婚した」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。
 2) 就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第3回から第4回にかけての就業状況の変化である。
 3) 3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

2 仕事をしていた女性の結婚後の就業継続の有無

女性は、仕事が正規の場合 62.4%、非正規の場合 45.4%が、結婚後も同一就業を継続している。

表5のうち、この3年間に結婚し、結婚前に仕事をしていた女性について結婚後の就業継続の有無をみると、「同一就業継続」は56.4%で、年齢階級が高くなるに従って「同一就業継続」の割合が高くなっている。

また、就業形態別にみると、「正規」では62.4%、「非正規」では45.4%が「同一就業継続」となっている。「非正規」では、「離職」が40.8%となっており、21～25歳では、半数が離職している。(表6、図5)

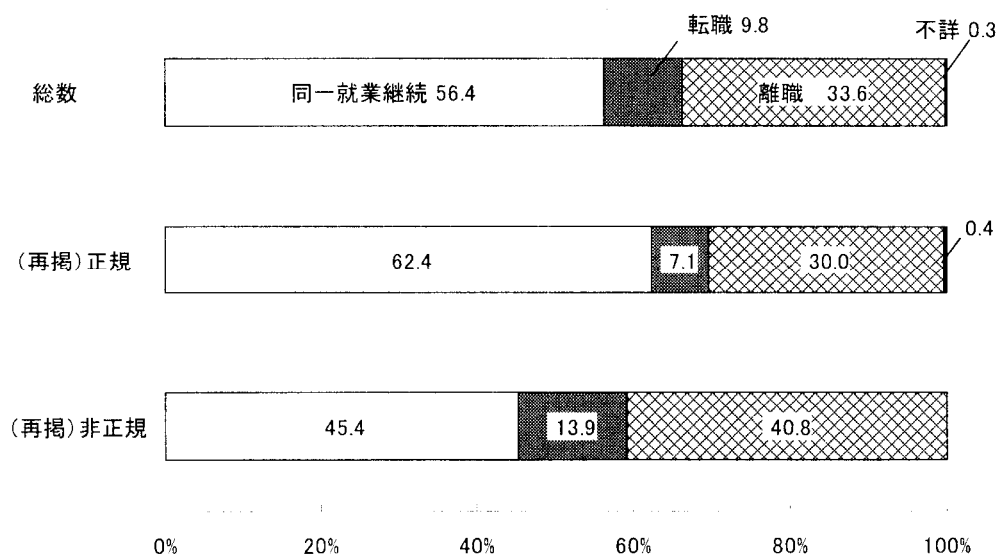
表6 年齢階級別にみた女性の就業継続の有無

		総数	同一就業継続	転職		離職	不詳		
				総数	(再掲) 正規へ (再掲) 非正規へ				
結婚後の年齢階級	総数	(100.0)	100.0	56.4	9.8	2.0	7.2	33.6	0.3
	21～25歳	(24.1)	100.0	47.3	12.1	3.3	8.8	40.7	-
	26～30歳	(49.7)	100.0	58.1	9.1	1.1	6.9	32.5	0.3
	31～35歳	(24.1)	100.0	60.4	9.3	2.7	6.0	29.7	0.5
	36～37歳	(2.0)	100.0	73.3	6.7	-	6.7	20.0	-
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	62.4	7.1	1.9	4.3	30.0	0.4
	21～25歳	(24.4)	100.0	57.5	8.8	3.5	5.3	33.6	-
	26～30歳	(52.7)	100.0	65.2	6.1	0.8	3.7	28.3	0.4
	31～35歳	(21.4)	100.0	61.6	7.1	3.0	4.0	30.3	1.0
	36～37歳	(1.5)	100.0	57.1	14.3	-	14.3	28.6	-
(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	45.4	13.9	2.1	11.3	40.8	-	
21～25歳	(26.1)	100.0	32.3	17.7	1.6	16.1	50.0	-	
26～30歳	(45.0)	100.0	43.0	12.1	1.9	10.3	44.9	-	
31～35歳	(27.7)	100.0	59.1	13.6	3.0	9.1	27.3	-	
36～37歳	(1.3)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	

注:1)集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られ、この3年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

2)3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図5 女性の就業継続の有無



注:1)集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られ、この3年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。

2)「(再掲) 正規」「(再掲) 非正規」は、結婚前の状況である。

3)3年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

Ⅱ 夫婦における子どもの出生の状況

1 この3年間の出生の状況

(1) 出生の状況

この3年間に、第1回からの夫婦の30.1%、第2回からの夫婦の58.4%、第3回からの夫婦の31.4%に子どもが生まれた。

この1年間に、第1回からの夫婦の7.9%、第2回からの夫婦の25.1%、第3回からの夫婦の31.4%に子どもが生まれ、この3年間では、それぞれ30.1%、58.4%、31.4%の夫婦に1人以上の子どもが生まれた。(表7、図6)

表7 妻の年齢階級別にみたこの3年間の出生の状況

	妻の年齢階級	総数	この3年間に出生あり										この3年間に出生なし		
			総数	第1回から第2回間に出生			第2回から第3回間に出生			第3回から第4回間に出生			総数	子どもあり	子どもなし
				総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降	総数	第1子	第2子以降			
第1回からの夫婦	(100.0)	100.0	30.1	12.9	3.8	9.1	11.6	2.7	8.9	7.9	1.1	6.8	69.9	60.4	9.5
21～25歳	(1.1)	100.0	51.4	29.7	10.8	18.9	16.2	2.7	13.5	18.9	2.7	16.2	48.6	29.7	18.9
26～30歳	(14.4)	100.0	48.1	18.4	6.6	11.8	21.2	6.2	15.0	12.4	2.0	10.4	51.9	43.9	8.0
31～35歳	(52.8)	100.0	33.6	14.4	4.5	9.9	12.9	2.9	10.0	8.8	1.3	7.5	66.4	56.7	9.7
36歳以上	(31.8)	100.0	15.4	7.4	1.3	6.1	5.0	0.8	4.2	4.0	0.5	3.5	84.6	75.1	9.5
第2回からの夫婦	(100.0)	100.0	58.4	-	-	-	35.1	34.2	0.9	25.1	20.3	4.8	41.6	5.6	35.9
21～25歳	(6.9)	100.0	68.8	-	-	-	56.3	56.3	-	18.8	12.5	6.3	31.3	12.5	18.8
26～30歳	(50.6)	100.0	65.8	-	-	-	38.5	37.6	0.9	29.1	21.4	7.7	34.2	6.8	27.4
31～35歳	(33.8)	100.0	44.9	-	-	-	25.6	25.6	-	20.5	19.2	1.3	55.1	2.6	52.6
36歳以上	(8.7)	100.0	60.0	-	-	-	35.0	30.0	5.0	25.0	25.0	-	40.0	5.0	35.0
第3回からの夫婦	(100.0)	100.0	31.4	-	-	-	-	-	-	31.4	29.2	2.3	68.6	18.6	50.0
20歳以下	(0.8)	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-
21～25歳	(16.7)	100.0	34.1	-	-	-	-	-	-	34.1	29.5	4.5	65.9	31.8	34.1
26～30歳	(50.8)	100.0	28.4	-	-	-	-	-	-	28.4	27.6	0.7	71.6	19.4	52.2
31～35歳	(27.3)	100.0	34.7	-	-	-	-	-	-	34.7	30.6	4.2	65.3	8.3	56.9
36歳以上	(4.5)	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	66.7	16.7	50.0

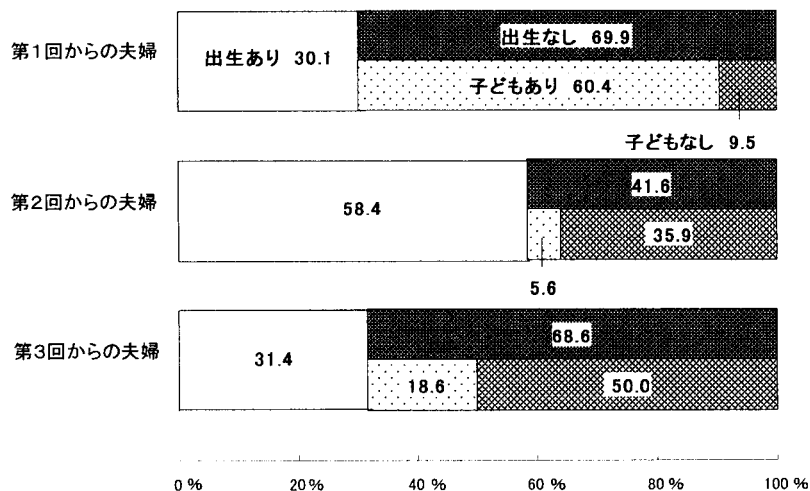
注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。

① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦

② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 「出生あり」には、夫・妻双方から回答を得る以前の出生を含まない。

図6 この3年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。

① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦

② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 「出生あり」には、夫・妻双方から回答を得る以前の出生を含まない。

(2) 3年前の「子どもをもつ意欲」別にみた状況

夫、妻ともに子どもがほしいと考えていた夫婦の53.5%に子どもが生まれた。

第1回からの夫婦について、第1回の夫及び妻の子どもをもつ意欲別に、この3年間の出生の状況をみると、夫、妻ともに「ほしい」では53.5%、夫、妻ともに「ほしくない」では2.1%の夫婦に子どもが生まれている。(表8)

表8 第1回の夫及び妻の子どもをもつ意欲別にみたこの3年間の出生の状況

(単位：%)

		第1回の妻の子どもをもつ意欲		
		ほしい	どちらとも いえない	ほしくない
第1回の3年間の間の子どもの出生をもつ意欲	ほしい	100.0 (33.6)	100.0 (8.7)	100.0 (5.4)
	出生あり	53.5	22.7	13.2
	出生なし	46.5	77.3	86.8
	どちらともいえない	100.0 (7.6)	100.0 (12.3)	100.0 (8.6)
	出生あり	23.8	8.3	3.2
	出生なし	76.2	91.7	96.8
	ほしくない	100.0 (2.9)	100.0 (4.8)	100.0 (11.8)
	出生あり	8.5	6.5	2.1
	出生なし	91.5	93.5	97.9

- 注：1) 集計対象は、第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦である。ただし、第1回から第2回間のみに出生ありで、妻の「出生前データ(用語の定義11参照)」が得られていない夫婦は除く。
 2) 「ほしい」は、「絶対ほしい」「欲しい」と回答した者を、「ほしくない」は、「あまり欲しくない」「絶対欲しくない」と回答した者を合算している。
 3) ()内は夫、妻の子どもをもつ意欲の組み合わせごとの、総数に対する割合である。

(3) 妻の仕事の有無別にみた状況

子どもがいなかった夫婦は、妻の仕事が正規の場合の40.7%に第1子が生まれている。

第1回からの夫婦、第2回からの夫婦及び第3回からの夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第3回の妻の仕事の有無別に、この3年間の出生の状況をみた。

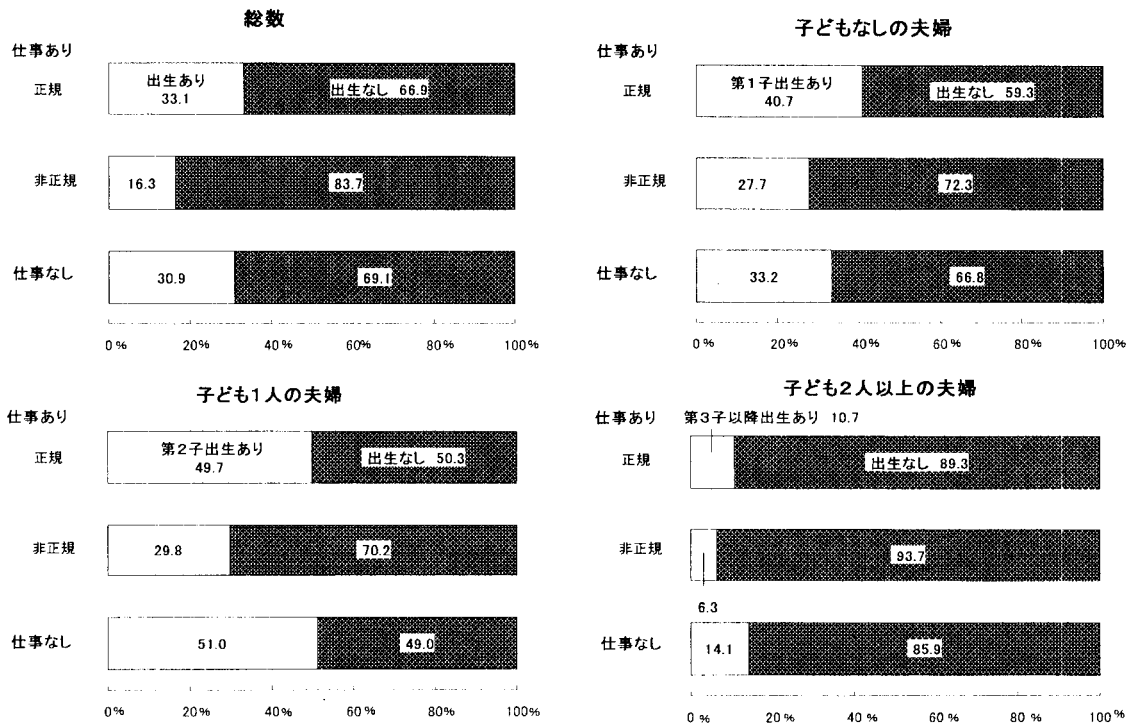
「仕事あり」で就業形態が「正規」の場合33.1%、「非正規」の場合16.3%、「仕事なし」の場合30.9%に子どもが生まれている。また、子ども数にかかわらず、「非正規」の場合に子どもが生まれている割合が低い。(表9、図7)

表9 妻の仕事の有無別にみたこの3年間の出生の状況

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
妻の仕事の有無	総数	(100.0)	100.0	26.0	74.0	100.0	33.5	66.5	100.0	45.3	54.7	100.0	10.8	89.2
	仕事あり	(57.5)	100.0	22.2	77.8	100.0	33.6	66.4	100.0	38.4	61.6	100.0	8.3	91.7
	(再掲) 正規	(18.5)	100.0	33.1	66.9	100.0	40.7	59.3	100.0	49.7	50.3	100.0	10.7	89.3
	(再掲) 非正規	(29.9)	100.0	16.3	83.7	100.0	27.7	72.3	100.0	29.8	70.2	100.0	6.3	93.7
	仕事なし	(42.4)	100.0	30.9	69.1	100.0	33.2	66.8	100.0	51.0	49.0	100.0	14.1	85.9

注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。ただし、妻の「出生前データ（用語の定義11参照）」が得られていない夫婦は除く。
 ① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 ② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 2) 妻の仕事の有無は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第3回の状況である。
 3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。
 4) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 5) 総数には、妻の仕事の有無不詳を含む。

図7 妻の仕事別にみたこの3年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。ただし、妻の「出生前データ（用語の定義11参照）」が得られていない夫婦は除く。
 ① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 ② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 2) 妻の仕事の有無は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第3回の状況である。
 3) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

(4) 妻の職場における育児休業制度の有無別にみたこの2年間の出生の状況

子どものいなかった夫婦では、妻の職場に育児休業制度があり、利用しやすい雰囲気がある場合 34.1%、制度がない場合 21.6%に第1子が生まれている。

第1回からの夫婦、第2回からの夫婦及び第3回からの夫婦のうち、「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第3回に妻が会社等に勤めていた夫婦について、妻の職場の利用可能な育児休業制度の有無別に、この2年間の出生の状況をみた。

妻の職場に、育児休業の「制度あり」で 18.8%、「制度なし」では 11.7%に子どもが生まれており、子どもなしの夫婦に第1子が生まれたのは、「制度あり」のうち「利用しやすい雰囲気がある」で 34.1%、「利用しにくい雰囲気がある」では 27.6%、「制度なし」では 21.6%となっている。(表10、図8)

表10 妻の職場の育児休業制度の有無別にみたこの2年間の出生の状況

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
妻の職場の育児休業制度の有無	総数	(100.0)	100.0	15.0	85.0	100.0	25.2	74.8	100.0	25.2	74.8	100.0	5.0	95.0
	制度あり	(38.7)	100.0	18.8	81.2	100.0	27.0	73.0	100.0	30.9	69.1	100.0	6.5	93.5
	利用しやすい雰囲気がある	(19.0)	100.0	23.0	77.0	100.0	34.1	65.9	100.0	35.1	64.9	100.0	8.8	91.2
	利用しにくい雰囲気がある	(8.1)	100.0	18.5	81.5	100.0	27.6	72.4	100.0	33.3	66.7	100.0	2.0	98.0
	どちらとも言えない	(9.8)	100.0	13.9	86.1	100.0	19.2	80.8	100.0	22.9	77.1	100.0	5.6	94.4
	制度なし	(34.1)	100.0	11.7	88.3	100.0	21.6	78.4	100.0	21.1	78.9	100.0	3.1	96.9
	制度があるかわからない	(23.5)	100.0	13.5	86.5	100.0	22.9	77.1	100.0	22.9	77.1	100.0	6.1	93.9

注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である。

① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦

② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦

③ 「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第3回に妻が会社等に勤めていた夫婦で、育児休業制度の有無のデータが得られている夫婦

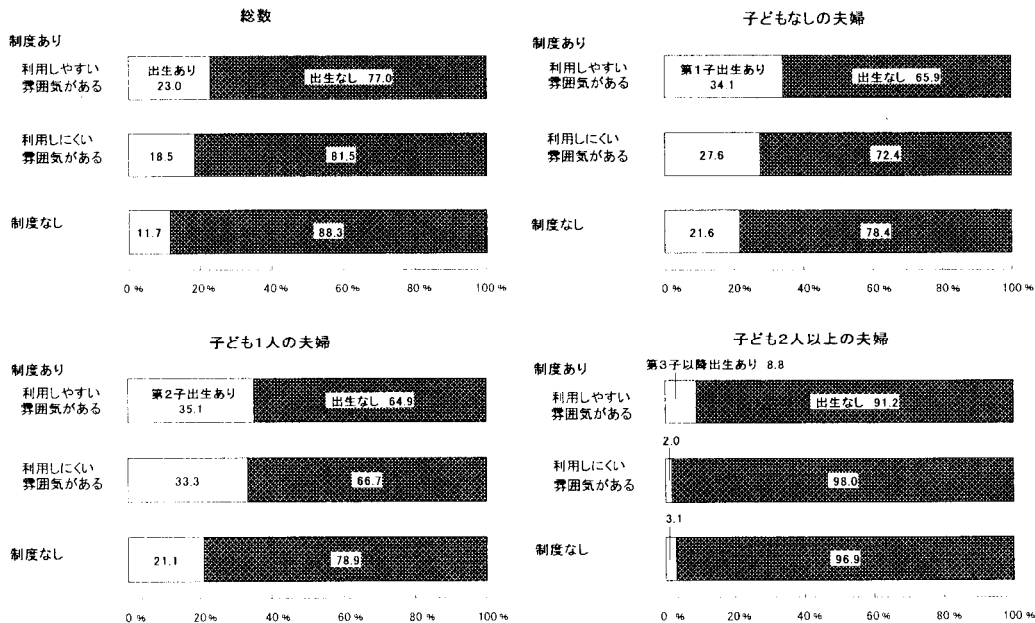
2) 育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいい、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第3回の状況である。

3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。

4) 2年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

5) 育児休業制度の有無の総数には、育児休業制度の有無不詳を含む。

図8 妻の職場の育児休業制度の有無別にみたこの2年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である。

① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦

② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦

③ 「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第3回に妻が会社等に勤めていて、育児休業制度の有無のデータが得られている夫婦

2) 育児休業制度の有無とは、利用可能な育児休業制度があるかどうかをいい、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第3回の状況である。

3) 2年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

(5) 夫の休日の家事・育児時間別にみた状況

子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長い方が第2子以降が生まれる割合が高くなる傾向がある。

第1回からの夫婦、第2回からの夫婦及び第3回からの夫婦について、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第3回の夫の休日の家事・育児時間別に、この3年間の出生の状況をみた。

子ども1人の夫婦では、「家事・育児時間なし」で21.1%、「8時間以上」で56.0%に第2子が生まれている。また、子どもがいる夫婦全体でも「家事・育児時間なし」で8.0%、「6～8時間未満」で29.8%に第2子以降が生まれており、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれている割合が高くなる傾向がある。(表11、図9)

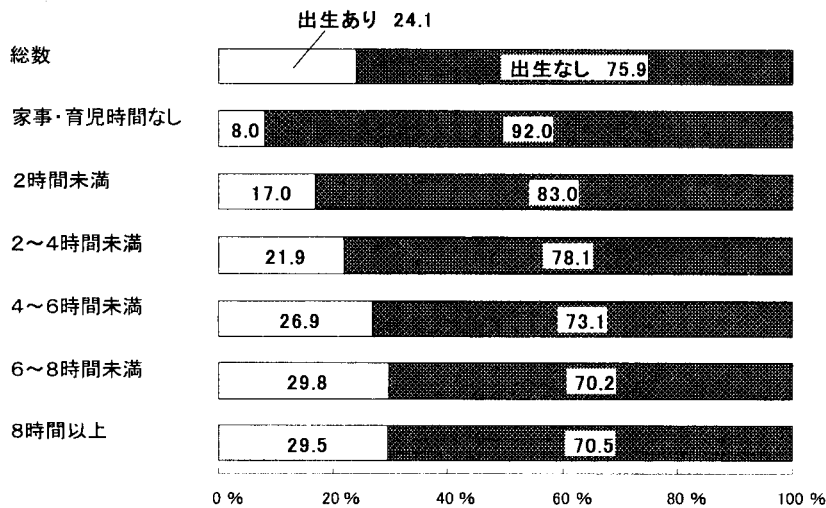
表11 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの3年間の出生の状況

		総数			子どもなし			1人			2人以上			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
夫の家事・休日の育児時間	総数	(100.0)	100.0	26.3	73.7	100.0	34.0	66.0	100.0	45.6	54.4	100.0	10.9	89.1
	家事・育児時間なし	(8.0)	100.0	24.4	75.6	100.0	35.1	64.9	100.0	21.1	78.9	100.0	1.4	98.6
	2時間未満	(24.6)	100.0	23.8	76.2	100.0	31.1	68.9	100.0	36.1	63.9	100.0	7.8	92.2
	2～4時間未満	(19.8)	100.0	24.3	75.7	100.0	36.1	63.9	100.0	40.3	59.7	100.0	11.0	89.0
	4～6時間未満	(13.8)	100.0	28.0	72.0	100.0	50.0	50.0	100.0	44.4	55.6	100.0	14.9	85.1
	6～8時間未満	(6.7)	100.0	29.7	70.3	100.0	25.0	75.0	100.0	50.5	49.5	100.0	11.3	88.7
	8時間以上	(22.0)	100.0	29.8	70.2	100.0	66.7	33.3	100.0	56.0	44.0	100.0	13.6	86.4

注：1)集計対象は、①または②に該当する夫婦である。ただし、妻の「出生前データ（用語の定義11参照）」が得られていない夫婦は除く。

- ① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦
- ② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦
- 2) 夫の家事・育児時間は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第3回の状況である。
- 3) 「子どもなし」「1人」「2人以上」は、出生前の状況である。
- 4) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
- 5) 夫の家事・育児時間の総数には、家事・育児時間不詳を含む。

図9 子どもがいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別にみたこの3年間の第2子以降の出生の状況



注：1)集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ（用語の定義11参照）」が得られていない夫婦は除く。

- ① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦
- ② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦
- ③ 「出生あり」は出生前に子どもがいる夫婦、「出生なし」は第3回に子どもがいる夫婦
- 2) 夫の家事・育児時間は、「出生あり」は出生前の、「出生なし」は第3回の状況である。
- 3) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
- 4) 夫の家事・育児時間の総数には、家事・育児時間不詳を含む。

2 仕事をしてきた妻の出産後の就業継続の有無

(1) 出生順位、就業形態別にみた状況

仕事をしてきた妻は、仕事が正規の場合 73.1%、非正規の場合 31.5%が出産後も同一就業を継続している。

第1回からの夫婦、第2回からの夫婦及び第3回からの夫婦のうちこの3年間に子どもが生まれた夫婦の、出産前に仕事ありであった妻について、出産後において「同一就業継続」であった割合は、56.4%となっている。

出生順位別にみると、「第1子」では45.6%、「第2子」では67.6%、「第3子以降」では53.0%となっている。

就業形態別にみると「正規」では73.1%、「非正規」では31.5%が「同一就業継続」となっている。(表12、図10)

表12 出生順位、就業形態別にみた出産後の就業継続の有無

(単位：%)

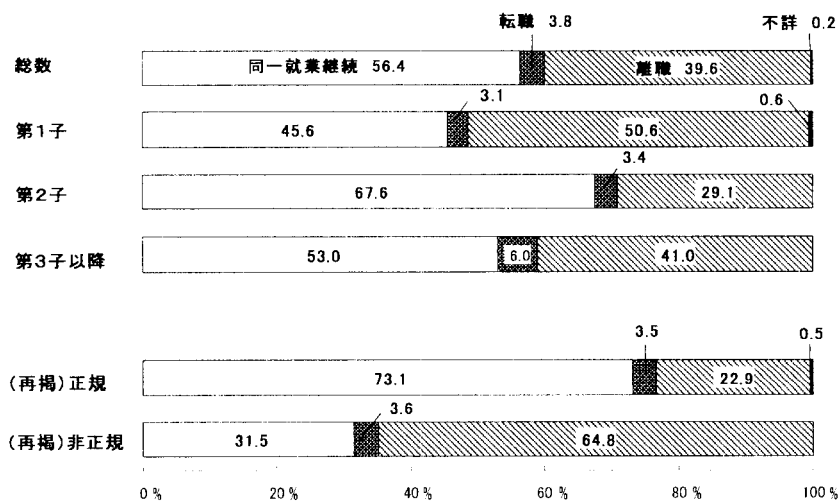
		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
出生(再掲) 順位 出産前・非 の正規	総数	(100.0)	100.0	56.4	3.8	39.6	0.2
	第1子	(37.9)	100.0	45.6	3.1	50.6	0.6
	第2子	(42.4)	100.0	67.6	3.4	29.1	-
	第3子以降	(19.7)	100.0	53.0	6.0	41.0	-
	(再掲) 正規	(47.6)	100.0	73.1	3.5	22.9	0.5
	(再掲) 非正規	(39.1)	100.0	31.5	3.6	64.8	-

注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの3年間に子どもが生まれた夫婦である。

- ① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦
- ② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦
- ③ 出産前に妻が仕事ありであった夫婦

2) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図10 出生順位、就業形態別にみた出産後の就業継続の有無



注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの3年間に子どもが生まれた夫婦である。

- ① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 - ② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 - ③ 出産前に妻が仕事ありであった夫婦
- 2) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
3) 「(再掲) 正規」「(再掲) 非正規」は、出産前の状況である。

(2) 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた状況

妻の職場に育児休業制度があり、利用しやすい雰囲気がある場合は 84.1%、制度がない場合は 27.3%の妻が、出産後も同一就業を継続している。

第1回からの夫婦、第2回からの夫婦及び第3回からの夫婦のうち妻が会社等に勤めていてその後この2年間に子どもが生まれた夫婦(表10において「出生あり」であった夫婦)について、妻の職場の利用可能な育児休業制度の有無別に、出産後における妻の就業継続の有無をみた。

「同一就業継続」の割合は、育児休業の「制度あり」では 81.6%、「制度なし」では 27.3%となっている。また、「制度あり」のうち「利用しやすい雰囲気がある」では 84.1%、「利用しにくい雰囲気がある」では 73.7%となっている。

さらに、就業形態別に見ると、「正規」で「制度あり」では 84.4%、「非正規」で「制度あり」では、61.5%が「同一就業継続」となっている。(表13、図11)

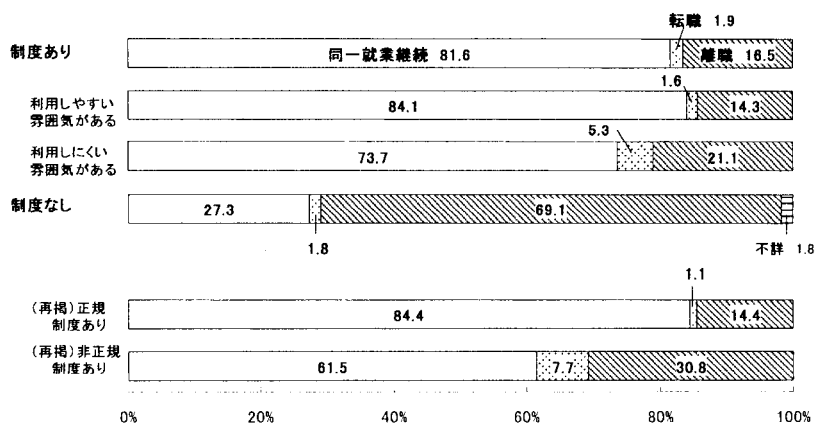
表13 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた就業継続の有無

		(単位: %)					
		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
出産前の妻の職場の育児休業制度の有無	総数	(100.0)	100.0	56.2	2.9	40.5	0.5
	制度あり	(49.0)	100.0	81.6	1.9	16.5	-
	利用しやすい雰囲気がある	(30.0)	100.0	84.1	1.6	14.3	-
	利用しにくい雰囲気がある	(9.0)	100.0	73.7	5.3	21.1	-
	どちらも言えない	(9.5)	100.0	80.0	-	20.0	-
	制度なし	(26.2)	100.0	27.3	1.8	69.1	1.8
	制度があるかないかわからない	(20.5)	100.0	27.9	7.0	65.1	-
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	75.2	1.8	22.1	0.9
	制度あり	(79.6)	100.0	84.4	1.1	14.4	-
	制度なし	(8.8)	100.0	50.0	-	40.0	10.0
	制度があるかないかわからない	(9.7)	100.0	18.2	9.1	72.7	-
	(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	34.0	4.1	61.9	-
	制度あり	(13.4)	100.0	61.5	7.7	30.8	-
	制度なし	(46.4)	100.0	22.2	2.2	75.6	-
	制度があるかないかわからない	(33.0)	100.0	31.3	6.3	62.5	-

注:1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの2年間に子どもが生まれた夫婦である。

- ① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 - ② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 - ③ 出産前に妻が会社等に勤めていて、育児休業制度の有無のデータが得られている夫婦
- 2) 2年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 3) 育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいう。
 4) 育児休業制度の有無の総数には、制度の有無不詳を含む。

図11 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた就業継続の有無



注:1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの2年間に子どもが生まれた夫婦である。

- ① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 - ② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 - ③ 出産前に妻が会社等に勤めていて、育児休業制度の有無のデータが得られている夫婦
- 2) 2年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 3) 育児休業制度の有無とは、利用可能な制度があるかどうかをいう。

(3) 夫の平日の家事・育児時間別にみた状況

出産後の夫の平日の家事・育児時間が長いほど、妻が出産後も同一就業を継続する割合が高くなり、離職する割合が低くなる傾向がある。

第1回からの夫婦、第2回からの夫婦及び第3回からの夫婦のうちこの3年間に子どもが生まれた夫婦の、出産前に仕事ありであった妻について、出産後の夫の平日の家事・育児時間別に、妻の出産後における「同一就業継続」の割合をみると、「家事・育児時間なし」で48.6%、「4時間以上」で77.1%となっており、夫の家事・育児時間が長いほど、「同一就業継続」の割合が高くなる傾向がある。また、「離職」の割合をみると、「4時間以上」で18.8%と、夫の家事・育児時間が長いほど低くなる傾向がある。(表14、図12)

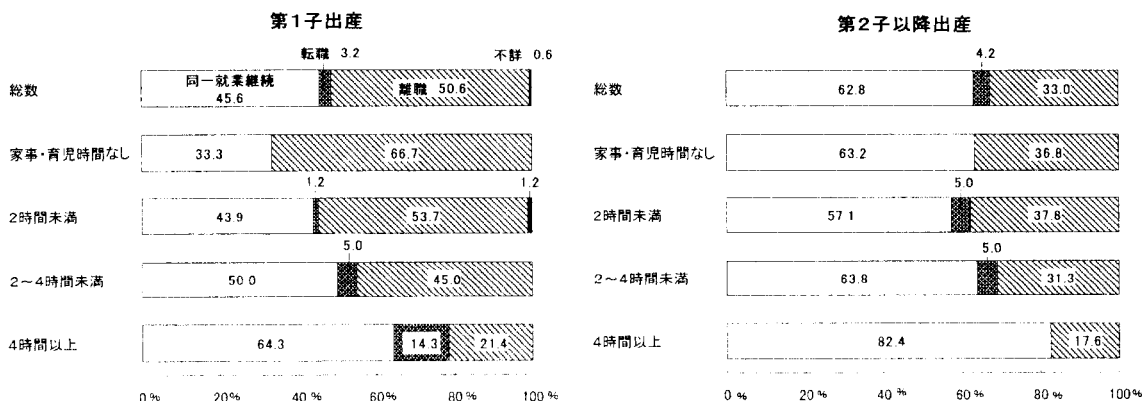
表14 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無

		(単位：%)					
		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
出 生 順 産 後 の 夫 の 平 日 の 家 事 ・ 育 児 時 間	総数	(100.0)	100.0	56.3	3.8	39.6	0.2
	家事・育児時間なし	(8.8)	100.0	48.6	-	51.4	-
	2時間未満	(48.0)	100.0	51.7	3.5	44.3	0.5
	2～4時間未満	(28.6)	100.0	59.2	5.0	35.8	-
	4時間以上	(11.5)	100.0	77.1	4.2	18.8	-
	第1子出産	(100.0)	100.0	45.6	3.2	50.6	0.6
	家事・育児時間なし	(11.4)	100.0	33.3	-	66.7	-
	2時間未満	(51.9)	100.0	43.9	1.2	53.7	1.2
	2～4時間未満	(25.3)	100.0	50.0	5.0	45.0	-
	4時間以上	(8.9)	100.0	64.3	14.3	21.4	-
	第2子以降出産	(100.0)	100.0	62.8	4.2	33.0	-
	家事・育児時間なし	(7.3)	100.0	63.2	-	36.8	-
	2時間未満	(45.6)	100.0	57.1	5.0	37.8	-
	2～4時間未満	(30.7)	100.0	63.8	5.0	31.3	-
	4時間以上	(13.0)	100.0	82.4	-	17.6	-

注:1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの3年間に子どもが生まれた同居夫婦である。

- ① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 - ② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 - ③ 出産前に妻が仕事ありであった夫婦
- 2) 3年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
3) 出産後の夫の家事・育児時間の総数には、家事・育児時間不詳を含む。

図12 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の就業継続の有無



注:1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの3年間に子どもが生まれた同居夫婦である。

- ① 第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 - ② 第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦
 - ③ 出産前に妻が仕事ありであった夫婦
- 2) 3年間に2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
3) 出産後の夫の家事・育児時間の総数には、家事・育児時間不詳を含む。

Ⅲ 意欲の変化

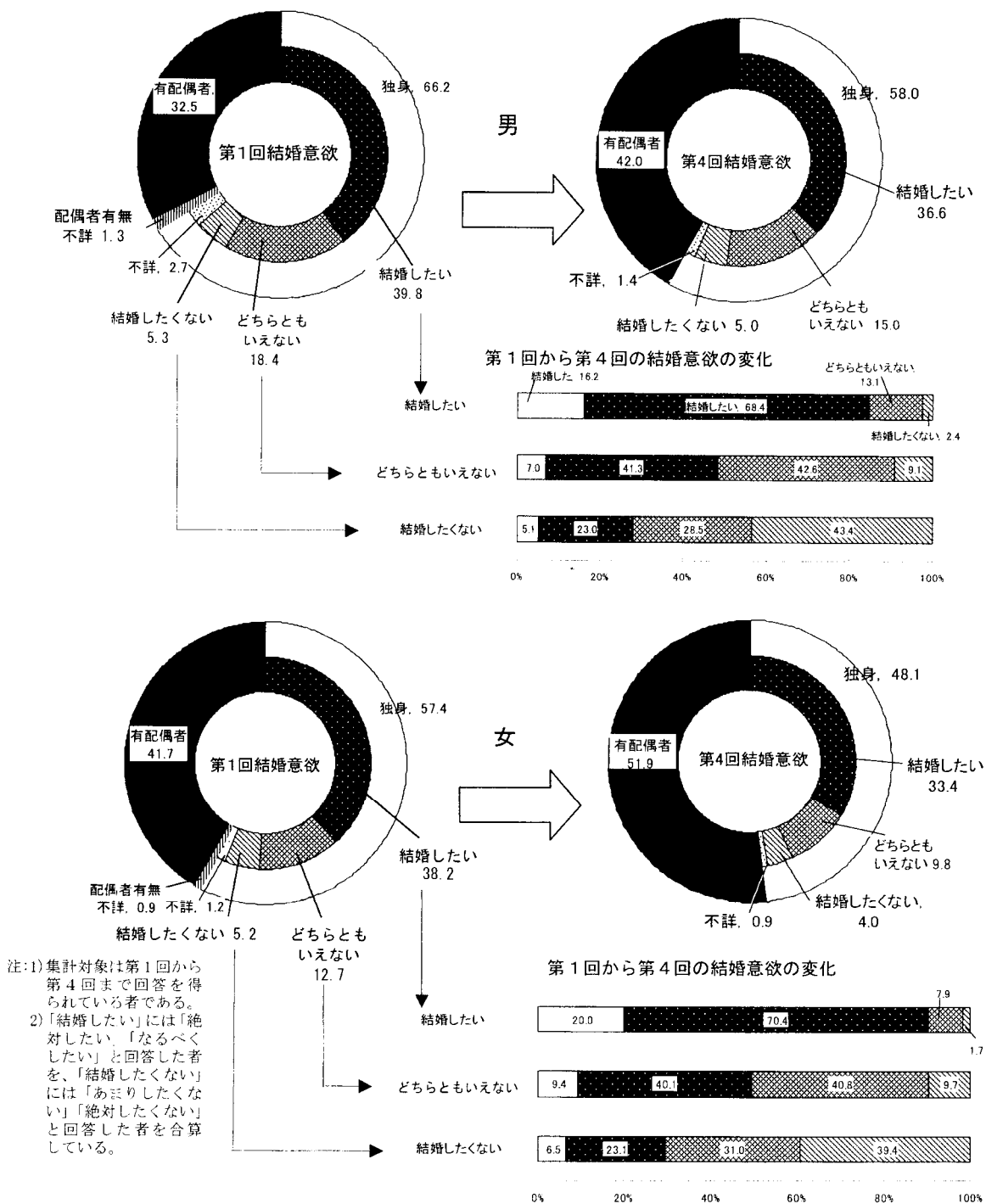
1 独身者の結婚意欲の変化

(1) 年齢階級別にみた変化

独身者の結婚意欲は、「結婚したい」へと変化している。

第1回の独身者について、第1回の結婚意欲別にこの3年間の結婚の状況と第4回の結婚意欲の状況をみると、第1回で「どちらともいえない」と考えていた者は、男7.0%、女9.4%が結婚し、男41.3%、女40.1%が「結婚したい」と考えるようになってきている。また、「結婚したくない」と考えていた者の男5.1%、女6.5%が結婚し、男23.0%、女23.1%が「結婚したい」と考えるようになってきている。(図13)

図13 第1回及び第4回の結婚意欲



年齢階級が低い方が、結婚意欲が「結婚したい」へと変化しているものの割合が高くなる傾向がある。

年齢階級別にみると、「どちらともいえない」から「結婚したい」へと変化している者の割合は、第1回の年齢が20～24歳の階級で男50.6%、女55.4%と他の年齢階級に比べて最も高く、30～34歳では男37.1%、女26.9%となっており、年齢階級が低いほど「結婚したい」へ変化する割合は高くなっている。

また、「結婚したくない」から「結婚したい」へと変化している者の割合についても、20～24歳で男26.1%、女36.5%、30～34歳では、男14.4%、女9.6%と、年齢階級が低い方が「結婚したい」へ変化する割合は高くなる傾向がある。(表15)

表15 年齢階級別にみたこの3年間の結婚の状況と結婚意欲の変化

(単位：%)

		男								女							
		総数	結婚した	結婚していない・第4回結婚意欲				総数	結婚した	結婚していない・第4回結婚意欲							
				総数	結婚したい	どちらともいえない	結婚したくない			総数	結婚したい	どちらともいえない	結婚したくない				
第1回の結婚意欲	総数	(100.0)	100.0	16.2	83.8	68.4	13.1	2.4	(100.0)	100.0	20.0	80.0	70.4	7.9	1.7		
				[100.0]	[81.6]	[15.6]	[2.9]				[100.0]	[88.0]	[9.9]	[2.1]			
	結婚したい	20～24歳(23～27)	(39.0)	100.0	12.8	87.2	71.4	13.3	2.5	(49.1)	100.0	11.6	85.4	75.8	7.4	2.2	
					[100.0]	[81.9]	[15.3]	[2.8]				[100.0]	[88.8]	[8.6]	[2.6]		
		25～29歳(28～32)	(37.3)	100.0	18.3	81.7	65.7	13.8	2.2	(34.7)	100.0	26.9	73.1	64.3	7.8	1.0	
					[100.0]	[80.4]	[16.9]	[2.7]				[100.0]	[88.0]	[10.6]	[1.4]		
		30～34歳(33～37)	(23.7)	100.0	18.5	81.5	67.5	11.5	2.5	(16.1)	100.0	21.5	78.5	66.8	10.1	1.6	
					[100.0]	[82.8]	[14.1]	[3.1]				[100.0]	[85.1]	[12.9]	[2.0]		
	どちらともいえない	総数	(100.0)	100.0	7.0	93.0	41.3	42.6	9.1	(100.0)	100.0	9.4	90.6	40.1	40.8	9.7	
					[100.0]	[44.4]	[45.9]	[9.8]				[100.0]	[44.2]	[45.1]	[10.7]		
		20～24歳(23～27)	(40.7)	100.0	5.5	94.5	47.8	38.4	8.3	(39.0)	100.0	7.2	92.8	51.5	33.9	7.4	
					[100.0]	[50.6]	[40.6]	[8.8]				[100.0]	[55.4]	[36.6]	[8.0]		
	25～29歳(28～32)	(34.5)	100.0	8.9	91.1	38.4	43.1	9.6	(33.9)	100.0	11.6	88.4	39.5	39.5	9.3		
				[100.0]	[42.1]	[47.3]	[10.6]				[100.0]	[44.7]	[44.7]	[10.5]			
	30～34歳(33～37)	(24.8)	100.0	7.1	92.9	34.5	48.9	9.5	(27.1)	100.0	9.7	90.3	24.3	52.4	13.6		
				[100.0]	[37.1]	[52.7]	[10.2]				[100.0]	[26.9]	[58.1]	[15.1]			
結婚したくない	総数	(100.0)	100.0	5.1	94.9	23.0	28.5	43.4	(100.0)	100.0	6.5	93.5	23.1	31.0	39.4		
				[100.0]	[21.2]	[30.1]	[45.7]				[100.0]	[24.7]	[33.2]	[42.2]			
	20～24歳(23～27)	(41.3)	100.0	5.8	94.2	24.6	32.5	37.2	(42.3)	100.0	5.0	95.0	34.7	28.7	31.7		
				[100.0]	[26.1]	[34.4]	[39.4]				[100.0]	[36.5]	[30.2]	[33.3]			
	25～29歳(28～32)	(32.3)	100.0	5.0	95.0	27.3	23.7	43.9	(29.8)	100.0	9.2	90.8	19.7	27.5	43.7		
				[100.0]	[28.8]	[25.0]	[46.2]				[100.0]	[21.7]	[30.2]	[48.1]			
	30～34歳(33～37)	(23.4)	100.0	4.0	96.0	13.9	27.7	54.5	(27.9)	100.0	6.0	94.0	9.0	38.3	46.6		
				[100.0]	[14.4]	[28.9]	[56.7]				[100.0]	[9.6]	[49.8]	[49.6]			

注:1) 集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者である。ただし、第1回の結婚意欲が不詳の者を除く。また、「結婚していない」は、第4回の結婚意欲が不詳の者を除く。

2) 「結婚したい」は、「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚したくない」は、「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を合算している。

3) 年齢は、第1回の年齢である。()内は第4回の年齢である。

4) []内は、第4回に結婚していない者を総数とした、第4回の結婚意欲の状況である。

(2) 親との同居状況との関係

男女とも、第1回から第4回にかけて親と同居から非同居へ変化している者は、「結婚したい」と考えている者の割合が高い。

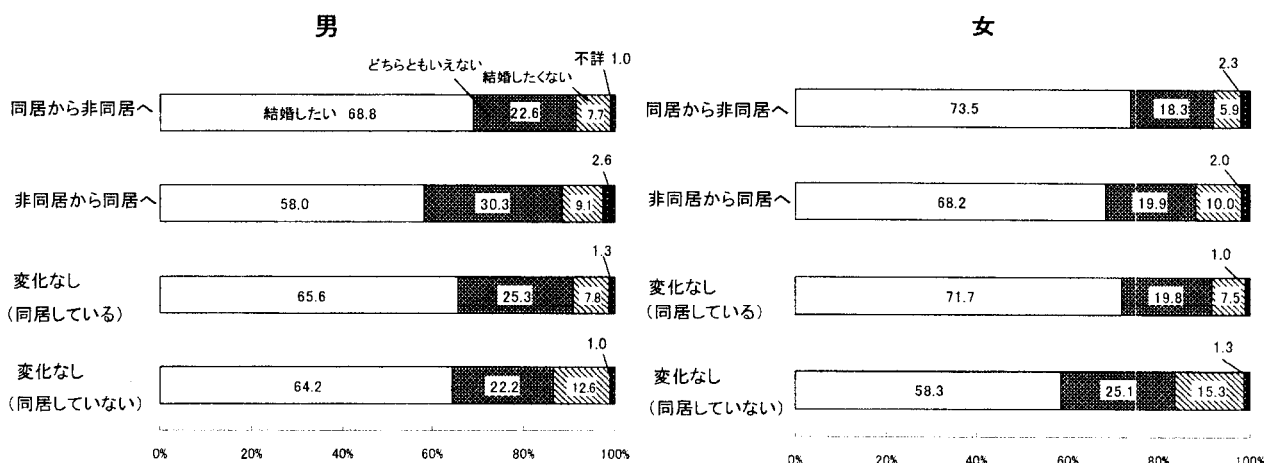
第1回からの独身者について、第1回から第4回間の親との同居の有無の変化別に、第4回の結婚意欲をみると、「同居から非同居へ」の場合、「結婚したい」と考えている者の割合は、男68.8%、女73.5%と、他の親との同居の有無の変化の場合に比べて最も高く、女は「結婚したくない」と考えている者の割合が5.9%と、他の場合に比べて特に低くなっている。また、親との同居の有無の変化が「変化なし(同居していない)」の場合、「結婚したくない」と考えている者の割合は、男12.6%、女15.3%と、他の場合に比べて高くなっている。(表16、図14)

表16 親との同居の有無の変化別にみた第4回の結婚意欲

		第4回の結婚意欲 (単位：%)					
		総数	結婚したい	どちらとも いえない	結婚したく ない	不詳	
第1回から第4回間の親との同居の有無の変化	男	(100.0)	100.0	63.1	25.8	8.6	2.5
	同居から非同居へ	(4.2)	100.0	68.8	22.6	7.7	1.0
	非同居から同居へ	(11.6)	100.0	58.0	30.3	9.1	2.6
	変化なし(同居している)	(64.1)	100.0	65.6	25.3	7.8	1.3
	変化なし(同居していない)	(10.5)	100.0	64.2	22.2	12.6	1.0
	女	(100.0)	100.0	69.4	20.4	8.4	1.8
	同居から非同居へ	(4.9)	100.0	73.5	18.3	5.9	2.3
	非同居から同居へ	(9.1)	100.0	68.2	19.9	10.0	2.0
	変化なし(同居している)	(72.3)	100.0	71.7	19.8	7.5	1.0
	変化なし(同居していない)	(8.7)	100.0	58.3	25.1	15.3	1.3

- 注:1) 集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者で、結婚をしていない者である。
 2) 「結婚したい」は、「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚したくない」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を合算している。
 3) 「男」「女」には、第1回から第4回間の親との同居の有無の変化不詳を含む。

図14 親との同居の有無の変化別にみた結婚意欲



- 注:1) 集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者で、結婚をしていない者である。
 2) 「結婚したい」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚したくない」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を合算している。

(3) 就業状況の変化との関係

男女とも非正規から正規への転職をした者に「結婚したい」と考えている者の割合が高く、無職継続の場合に低い。

第1回からの独身者について、第1回から第4回間の就業状況の変化別に、第4回の結婚意欲をみると、「同一就業継続」のうち就業形態が「正規」の場合、「結婚したい」と考えている者の割合は、男69.1%、女73.3%となっている。また、「転職」のうち「非正規から正規へ」の場合は、男74.7%、女76.6%と、さらに高くなっている。また、「無職継続」の場合、「結婚したい」と考えている者の割合は、男女とも45.4%と、他の就業状況の変化の場合に比べて、最も低くなっている。(表17、図15)

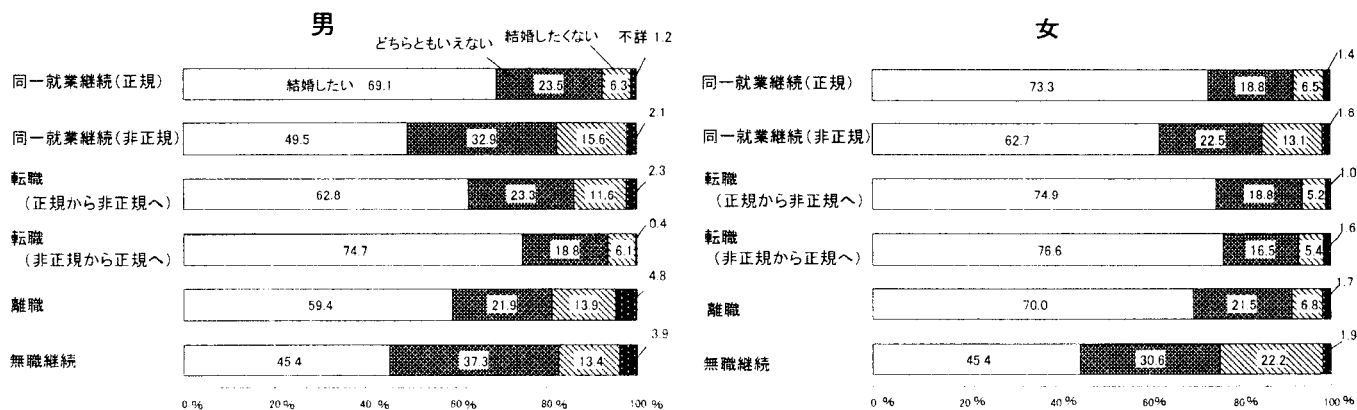
表17 就業状況の変化と第4回の結婚意欲

(単位: %)

	第4回の結婚意欲						
	総数	結婚したい	どちらとも いえない	結婚したく ない	不詳		
第1回から第4回間の就業状況の変化	男	(100.0)	100.0	63.1	25.8	8.6	2.5
	同一就業継続	(53.0)	100.0	66.0	24.7	7.5	1.8
	(再掲) 正規	(40.1)	100.0	69.1	23.5	6.3	1.2
	(再掲) 非正規	(5.9)	100.0	49.5	32.9	15.6	2.1
	転職	(19.5)	100.0	64.8	23.7	8.6	2.9
	(再掲) 正規から非正規へ	(1.8)	100.0	62.8	23.3	11.6	2.3
	(再掲) 非正規から正規へ	(5.6)	100.0	74.7	18.8	6.1	0.4
	新規就業	(11.5)	100.0	63.1	27.7	6.9	2.3
	離職	(5.1)	100.0	59.4	21.9	13.9	4.8
	無職継続	(7.3)	100.0	45.4	37.3	13.4	3.9
	女	(100.0)	100.0	69.4	20.4	8.4	1.8
	同一就業継続	(48.5)	100.0	70.5	19.8	8.2	1.5
	(再掲) 正規	(34.7)	100.0	73.3	18.8	6.5	1.4
	(再掲) 非正規	(11.2)	100.0	62.7	22.5	13.1	1.8
転職	(27.2)	100.0	73.0	18.6	6.8	1.7	
(再掲) 正規から非正規へ	(4.3)	100.0	74.9	18.8	5.2	1.0	
(再掲) 非正規から正規へ	(7.1)	100.0	76.6	16.5	5.4	1.6	
新規就業	(12.4)	100.0	68.4	21.4	8.0	2.2	
離職	(5.3)	100.0	70.0	21.5	6.8	1.7	
無職継続	(4.9)	100.0	45.4	30.6	22.2	1.9	

- 注:1) 集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者で、結婚をしていない者である。
 2) 「結婚したい」は、「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚したくない」は、「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を合算している。
 3) 「男」「女」には、第1回から第4回間の就業状況の変化不詳を含む。

図15 就業状況の変化と結婚意欲の変化



- 注:1) 集計対象は、第1回独身で第4回まで回答を得られている者で、結婚をしていない者である。
 2) 「結婚したい」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚したくない」は「あまりしたくない」と回答した者を合算している。

2 夫婦の子どもをもつ意欲

(1) 年齢階級別にみた子どもをもつ意欲の変化

この3年間に第2子以降が生まれた夫婦は、第4回に子どもが「ほしい」と考える者の割合が、第1回と比較すると大幅に低下している。

第1回からの夫婦について、この3年間の出生の有無、出生順位、子ども数別に第1回と第4回の夫、妻の子どもをもつ意欲をみた。この3年間に出生ありの夫婦は、第1子出生の場合、夫は、子どもが「ほしい」と考えている者の割合が、第1回84.4%、第4回67.3%、妻は、第1回86.6%、第4回70.6%となっている。第2子出生の場合は、夫は、第1回86.5%から第4回23.8%、妻は第1回83.7%から第4回39.0%と、第1子出生の場合より大きく減少している。

この3年間に出生なしの夫婦のうち子ども1人の夫婦は、「ほしい」と考えている者の割合が、夫は60.6%から55.4%へ、妻は55.2%から45.0%へ減少しており、「ほしくない」と考えている者の割合が、夫は8.5%から16.8%へ、妻は17.8%から27.0%へと増加している。(表18)

表18 この3年間の出生の状況、出生順位、子ども数別にみた、第1回及び第4回の子どもをもつ意欲

		第1回の子どもをもつ意欲					第4回の子どもをもつ意欲					
		総数	ほしい	どちらともいえない	ほしくない	不詳	総数	ほしい	どちらともいえない	ほしくない	不詳	
この3年間に出生あり	出生順位	(100.0)										
	第1子出生 夫	(25.8)	100.0	84.4	8.6	1.5	5.6	100.0	67.3	23.0	7.1	2.6
	第1子出生 妻		100.0	86.6	9.3	1.9	2.2	100.0	70.6	16.7	11.5	1.1
	第2子出生 夫	(54.1)	100.0	86.5	10.3	0.7	2.5	100.0	23.8	39.0	34.6	2.7
	第2子出生 妻		100.0	83.7	11.0	3.9	1.4	100.0	20.7	33.9	43.6	1.8
	第3子以降出生 夫	(20.1)	100.0	53.1	26.8	17.2	2.9	100.0	11.0	27.8	56.9	4.3
第3子以降出生 妻		100.0	46.9	32.5	16.3	4.3	100.0	9.1	24.4	63.2	3.3	
この3年間に出生なし	子ども数	(100.0)										
	子どもなし 夫	(14.9)	100.0	62.4	21.5	11.0	5.0	100.0	59.1	22.4	14.1	4.4
	子どもなし 妻		100.0	58.0	22.9	15.5	3.6	100.0	53.9	21.0	22.4	2.8
	1人 夫	(21.4)	100.0	60.6	29.7	8.5	1.2	100.0	55.4	26.1	16.8	1.7
	1人 妻		100.0	55.2	25.7	17.8	1.4	100.0	45.0	26.4	27.0	1.5
	2人以上 夫	(63.7)	100.0	22.8	39.4	34.9	2.9	100.0	17.8	30.5	48.8	2.9
2人以上 妻		100.0	19.9	34.3	43.6	2.1	100.0	13.0	26.2	59.1	1.6	

注:1)集計対象は、第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦である。

2)「ほしい」には「絶対欲しい」「欲しい」と回答した者を、「ほしくない」には「あまり欲しくない」「絶対欲しくない」と回答した者を合算している。

3)出生順位は、3年間で2人以上出生ありの場合は、最初の子について計上している。

また、第1回からの夫婦、第2回からの夫婦及び第3回からの夫婦のうち子どもがいない夫婦について、妻の年齢階級別に第4回の夫、妻の子どもをもつ意欲をみると、年齢階級が高いほど、子どもを「ほしい」と考える者の割合は低くなる傾向がある(表19)。

表19 妻の年齢階級別にみた第4回の子どもをもつ意欲

		第4回の子どもをもつ意欲					
		総数	ほしい	どちらともいえない	ほしくない	不詳	
第4回の妻の年齢階級	総数 夫	(100.0)	100.0	71.7	17.2	7.5	3.5
	総数 妻		100.0	68.1	16.7	12.8	2.4
	21~25歳 夫	(4.6)	100.0	64.0	24.0	8.0	4.0
	21~25歳 妻		100.0	80.0	8.0	12.0	-
	26~30歳 夫	(26.1)	100.0	80.3	12.7	5.6	1.4
	26~30歳 妻		100.0	78.2	10.6	9.2	2.1
	31~35歳 夫	(47.7)	100.0	74.2	15.4	7.3	3.1
31~35歳 妻		100.0	68.8	18.1	11.5	1.5	
36歳以上 夫	(21.7)	100.0	57.6	25.4	10.2	6.8	
36歳以上 妻		100.0	51.7	22.9	20.3	5.1	

注:1)集計対象は、①または②に該当し、かつ第4回で子どもなしの夫婦である。

①第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで回答を得られている夫婦

2)「ほしい」には「絶対欲しい」「欲しい」と回答した者を、「ほしくない」には「あまり欲しくない」「絶対欲しくない」と回答した者を合算している。

(2) 妻の職場における育児休業制度の有無別にみた妻の子どもをもつ意欲

子どもが1人いる夫婦では、妻の職場に育児休業制度があると71.1%が、制度がないと39.5%がさらに子どもがほしいと考えている。

第1回からの夫婦、第2回からの夫婦及び第3回からの夫婦について、第4回の妻の職場の利用可能な育児休業制度の有無別に、妻の子どもをもつ意欲をみた。子どもなしの夫婦では、子どもを「ほしい」と考えている者の割合は、「制度あり」で75.3%、「制度なし」で59.4%となっており、子ども1人の夫婦では、「制度あり」だと「ほしい」が71.1%、「ほしくない」が12.4%、「制度なし」だと「ほしい」が39.5%、「ほしくない」が29.0%となっている。

就業形態の正規・非正規別にみると、子どもがいる夫婦では、制度の有無にかかわらず、正規の方が「ほしい」と考えている者の割合が高くなっている。(表20)

表20 妻の職場の育児休業制度の有無別にみた第4回の妻の子どもをもつ意欲

(単位：%)

		第4回の妻の子どもをもつ意欲					
		総数	ほしい	どちらとも いえない	ほしくない	不詳	
第4回の妻の子ども数・第4回の妻の職場の育児休業制度の有無	総数	(100.0)	100.0	33.4	24.4	41.0	1.3
	子どもなし	(100.0)	100.0	65.1	18.2	14.7	2.0
	制度あり	(44.4)	100.0	75.3	10.4	13.0	1.3
	利用しやすい雰囲気がある	(17.0)	100.0	81.4	11.9	3.4	3.4
	利用しにくい雰囲気がある	(11.5)	100.0	75.0	5.0	20.0	-
	どちらとも言えない	(14.1)	100.0	71.4	14.3	14.3	-
	制度なし	(29.1)	100.0	59.4	19.8	16.8	4.0
	制度があるかないかわからない	(24.8)	100.0	57.0	27.9	15.1	-
	子ども1人	(100.0)	100.0	56.3	21.6	20.6	1.5
	制度あり	(49.4)	100.0	71.1	14.9	12.4	1.5
	利用しやすい雰囲気がある	(28.3)	100.0	77.4	12.2	10.4	-
	利用しにくい雰囲気がある	(8.1)	100.0	69.7	12.1	12.1	6.1
	どちらとも言えない	(10.8)	100.0	61.4	22.7	13.6	2.3
	制度なし	(30.5)	100.0	39.5	31.5	29.0	-
	制度があるかないかわからない	(18.4)	100.0	45.3	25.3	26.7	2.7
	子ども2人以上	(100.0)	100.0	14.3	27.4	57.3	0.9
	制度あり	(38.8)	100.0	19.3	29.6	49.9	1.2
	利用しやすい雰囲気がある	(21.0)	100.0	19.6	27.6	52.0	0.9
	利用しにくい雰囲気がある	(6.8)	100.0	16.4	31.5	49.3	2.7
	どちらとも言えない	(8.4)	100.0	24.4	31.1	43.3	1.1
制度なし	(34.2)	100.0	12.0	26.2	61.2	0.5	
制度があるかないかわからない	(25.5)	100.0	10.6	26.0	62.6	0.7	
(再掲) 正規	総数	(100.0)	100.0	44.3	22.9	31.0	1.8
子どもなし	(100.0)	100.0	69.5	14.6	12.6	3.3	
制度あり	(75.5)	100.0	75.4	12.3	10.5	1.8	
制度なし	(13.2)	100.0	55.0	15.0	20.0	10.0	
子ども1人	(100.0)	100.0	71.1	13.4	13.9	1.6	
制度あり	(88.8)	100.0	74.1	13.3	10.8	1.8	
制度なし	(8.0)	100.0	40.0	20.0	40.0	-	
子ども2人以上	(100.0)	100.0	18.0	32.0	48.8	1.2	
制度あり	(82.9)	100.0	19.9	34.3	44.8	1.1	
制度なし	(9.0)	100.0	13.3	23.3	63.3	-	
(再掲) 非正規	総数	(100.0)	100.0	26.9	25.2	46.9	1.0
子どもなし	(100.0)	100.0	61.7	20.9	16.3	1.0	
制度あり	(20.4)	100.0	75.0	5.0	20.0	-	
制度なし	(41.5)	100.0	60.5	21.0	16.0	2.5	
子ども1人	(100.0)	100.0	43.6	28.6	26.4	1.4	
制度あり	(15.9)	100.0	57.1	22.9	20.0	-	
制度なし	(49.5)	100.0	39.4	33.0	27.5	-	
子ども2人以上	(100.0)	100.0	12.7	25.3	61.2	0.8	
制度あり	(18.8)	100.0	18.1	20.3	60.1	1.4	
制度なし	(45.7)	100.0	11.9	26.5	61.0	0.6	

注:1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する夫婦である。

①第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦

③第4回に妻が会社等に勤めていた夫婦

2) 「ほしい」には「絶対欲しい」「欲しい」と回答した者を、「ほしくない」には「あまり欲しくない」「絶対欲しくない」と回答した者を合算している。

3) 育児休業制度の有無の総数には、制度の有無不詳を含む。

(3) 夫の休日の家事・育児時間と妻の子どもをもつ意欲

子どもがいる夫婦では、夫の休日の家事・育児時間が長い方が、妻が子どもを「ほしい」と考える割合が高くなる傾向がみられる。

第1回からの夫婦、第2回からの夫婦及び第3回からの夫婦について、第4回の夫の休日の家事・育児時間別に、妻の子どもをもつ意欲をみた。子どもなしの夫婦では、夫の家事・育児時間にかかわらず、子どもを「ほしい」と考えている者の割合は高いが、子ども1人の夫婦では、「家事・育児時間なし」の場合、「ほしい」と考えている者の割合は38.8%、「2時間未満」の場合53.9%となっており、一方、「6～8時間」の場合は74.7%、「8時間以上」の場合は65.5%と、家事・育児時間が長い方が、妻が子どもを「ほしい」と考える割合が高くなる傾向がある。

また、第3回に子ども1人で夫の家事・育児時間が2時間未満（「家事・育児時間なし」を含む）であった夫婦について、第3回から第4回にかけての夫の家事・育児時間の増減別にみると、「第4回で増加」の場合、「ほしい」が51.0%、「ほしくない」が20.2%であるのに対し、「第4回で減少」の場合、「ほしい」が36.7%、「ほしくない」が30.0%となっている。（表2-1）

表2-1 子ども数、夫の休日の家事・育児時間別にみた第4回の妻の子どもをもつ意欲

		第4回の妻の子どもをもつ意欲					
		総数	ほしい	どちらとも いえない	ほしくない	不詳	
第4回 の夫の 休日の 家事・ 育児 時間	総数	100.0	34.4	24.2	39.6	1.8	
	子どもなし	(100.0)	100.0	68.3	16.7	12.9	2.1
	家事・育児時間なし	(20.7)	100.0	59.6	19.3	19.3	1.8
	2時間未満	(54.8)	100.0	72.9	14.9	10.8	1.4
	2～4時間未満	(16.2)	100.0	65.9	20.0	12.9	1.2
	4～6時間未満	(1.5)	100.0	87.5	12.5	-	-
	6～8時間未満	(0.4)	100.0	100.0	-	-	-
	8時間以上	(0.8)	100.0	75.0	25.0	-	-
	子ども1人	(100.0)	100.0	61.9	20.0	16.6	1.5
	家事・育児時間なし	(5.0)	100.0	38.8	28.6	30.6	2.0
	2時間未満	(18.1)	100.0	53.9	23.6	21.3	1.1
	2～4時間未満	(23.4)	100.0	61.3	18.3	19.6	0.9
	4～6時間未満	(18.5)	100.0	67.4	21.5	8.8	2.2
	6～8時間未満	(8.1)	100.0	74.7	6.3	17.7	1.3
	8時間以上	(24.0)	100.0	65.5	20.0	12.3	2.1
	子ども2人以上	(100.0)	100.0	15.4	27.6	55.2	1.8
	家事・育児時間なし	(5.1)	100.0	6.7	24.2	67.5	1.7
	2時間未満	(18.0)	100.0	13.5	23.9	61.4	1.2
	2～4時間未満	(22.7)	100.0	15.7	25.7	57.3	1.3
	4～6時間未満	(17.6)	100.0	17.9	26.1	54.1	1.9
6～8時間未満	(7.1)	100.0	15.1	32.5	48.8	3.6	
8時間以上	(26.1)	100.0	16.7	32.0	49.7	1.6	
（再掲） 前回 にかつ 子ども 2時間 未満の 夫婦 第3回 から 第4回 まで	総数	(100.0)	100.0	45.7	25.3	26.3	2.7
	増加	(55.9)	100.0	51.0	26.0	20.2	2.9
	減少	(16.1)	100.0	36.7	30.0	30.0	3.3
	変化なし	(25.3)	100.0	40.4	19.1	38.3	2.1

注:1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。

①第1回から第4回まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回に独身で第3回までの間に結婚し、結婚後第4回まで双方から回答を得られている夫婦

2) 「ほしい」には「絶対欲しい」「欲しい」と回答した者を、「ほしくない」には「あまり欲しくない」「絶対欲しくない」と回答した者を合算している。

3) 「子どもなし」「子ども1人」「子ども2人以上」には、第4回の夫の家事・育児時間不詳を含む。

4) (再掲)は、第3回に子ども1人で、かつ夫の休日の家事・育児時間が2時間未満（なしを含む）であった夫婦について、第3回から第4回にかけての夫の家事・育児時間の増減別に集計している。なお、総数には、家事・育児時間の増減不詳を含む。

参 考

1 集計客体数一覧

I 結婚の状況、Ⅲ 意欲の変化（1 独身者の結婚意欲の変化）

本章では、主に以下について集計している。
 ・第1回の独身者：第1回調査で独身であり、第4回まで回答を得られている者。

図表番号	集計対象の条件	客体数		対象となる調査票			
		男	女	男性票	女性票	配偶者 (男性用)	配偶者 (女性用)
表1, 図1, 13	第1回の女性票、男性票	8,456	9,227	○	○		
表2, 3, 15 図2, 3, 3)	第1回の独身者 「結婚した」は結婚前に仕事ありの者、「結婚していない」は第3回に仕事ありの者 調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く この3年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性	5,598	5,294	○	○		
表4		4,791	4,653	○	○		
表5, 図4		5,598	5,292	○	○		
表6, 図5					○		
表16, 17 図14, 15		第4回まで独身	4,906	4,438	○	○	

Ⅱ 出生の状況、Ⅲ 意欲の変化（2 夫婦の子どもをもつ意欲の変化）

本章では、以下について集計している。
 ・第1回からの夫婦：第1回から夫婦として調査対象としており、第1回から第3回まで夫、妻双方から回答を得られている夫婦。
 ・第2回からの夫婦：第1回独身で第2回に結婚し、その後第4回まで双方から回答を得られている夫婦。
 ・第3回からの夫婦：第1回独身で第2回から第3回に結婚し、その後第4回まで双方から回答を得られている夫婦。

図表番号	集計対象の条件	客体数				対象となる調査票			
		第1回からの夫婦	第2回からの夫婦	第3回からの夫婦	計	男性票	女性票	配偶者 (男性用)	配偶者 (女性用)
表7, 21 図6, 2)	夫婦	3,464	231	264	3,959	○	○	○	○
表8, 9, 11 図7, 9 1), 2)	出生ありの夫婦のうち、妻の「出生前データ（用語の定義12参照）」が得られていない夫婦を除く	3,252	181	215	3,648	○	○	○	○
表10, 図8	「出生あり」は出生前に、「出生なし」は第3回に妻が会社等に勤めており、育児休業制度の有無のデータが得られている	1,382	105	121	1,608		○		○
表20	妻が第4回に会社等に勤めていた	1,602	94	127	1,823		○		○
表18	この3年間に出生あり	1,042			1,042	○	○	○	○
表18	この3年間に出生なし	2,422			2,422	○	○	○	○
表19 1)	第4回に子どもなしの夫婦	330	83	132	545	○	○	○	○
	妻が女性票								
表12, 14 図10, 12 2)	この3年間に出生あり、出産前に妻に仕事あり	377	31	14	422		○		
表13, 図11	この2年間に出生あり、出生前に妻が会社等に勤めており、育児休業制度の有無のデータが得られている	168	29	13	210		○		

注：1) 表8, 19については、第1回からの夫婦のみを対象としている。
 2) 表11, 14, 21, 図9, 12については、調査対象となってから同居している夫婦のみを対象としている。
 3) 表15については、第1回の結婚意欲及び第4回の結婚意欲が不詳の者を除いている。

2 1以外の集計客体数

I 結婚の状況

表6 年齢階級別にみた女性の就業継続の有無

	総数	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	754	463	238

II 出生の状況

表9 妻の仕事の有無別にみた
この3年間の出生の状況

	総数	なし	1人	2人以上
総数	3 648	823	1 064	1 761
仕事あり	2 096	581	485	1 030
(再掲) 正規	676	270	181	225
(再掲) 非正規	1 092	264	225	603
仕事なし	1 546	241	577	728

表10 妻の職場の育児休業制度の有無別に
みたこの2年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	1 608	469	333	806
制度あり	623	211	136	276
利用しやすい雰囲気がある	305	91	77	137
利用しにくい雰囲気がある	130	58	21	51
どちらとも言えない	158	52	35	71
制度なし	549	148	109	292
制度があるかないかわからない	378	96	70	212

表11 夫の休日の家事・育児時間別にみた
この3年間の出生の状況

	総数	子どもなし	1人	2人以上
総数	3 553	798	1 044	1 711
家事・育児時間なし	283	171	38	74
2時間未満	875	421	147	307
2～4時間未満	703	122	216	365
4～6時間未満	489	24	189	276
6～8時間未満	239	4	111	124
8時間以上	782	6	291	485

表13 妻の職場の育児休業制度の有無別に
みた就業継続の有無

	総数	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	210	113	97

表14 夫の平日の家事・育児時間別にみた
妻の就業継続の有無

	総数	第1子出産	第2子以降出産
総数	419	158	261

III 意欲の変化

表20 妻の職場の育児休業制度の有無別に
みた第4回の妻の子どもをもつ意欲

	総数	子どもなし	子ども1人	子ども2人以上
総数	1 823	347	407	1 069
(再掲) 正規	672	151	187	334
(再掲) 非正規	1 151	196	220	735

表21 子ども数、夫の休日の家事・
育児時間別にみた第4回の
妻の子どもをもつ意欲

	総数	子どもなし	子ども1人	子ども2人以上	(再掲)
総数	3 856	526	981	2 349	186

用語の定義

- 1 「**独身者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別、死別は区別していない。
- 2 「**結婚した**」及び「**夫婦**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者を含む。
- 3 「**正規**」及び「**非正規**」は次の就業形態をいう。
「正規」 …… 正規の職員・従業員
「非正規」…… アルバイト、パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託、その他
なお、これらの就業形態は、勤め先における呼称を基準としている。
- 4 「**同一就業継続**」とは、勤め先、及び就業形態が変わっていないこと、また、自ら行っている事業が変わっていないことをいう。
- 5 「**子どもなし**」とは、「子ども」欄に記入がなかった者をいう。
- 6 「**子どもをもつ意欲**」とは、第1回調査及び第4回調査において、「子どもが（もう1人）欲しいと思いますか。」と質問したものである。
- 7 「**育児休業制度の有無**」とは、「あなたのお勤めの会社等には、あなたの就業形態で利用可能な次の制度はありますか」と質問した時の、育児休業制度についての回答である。
- 8 「**家事・育児時間**」とは、1日の中で家事や育児に何時間くらい費やしているかを、平日と休日に分けて質問したものである。
- 9 「**第1回**」「**第2回**」「**第3回**」「**第4回**」とは、それぞれの回の調査で把握した項目である。
- 10 「**結婚前**」「**結婚後**」とは、それぞれ結婚直前、直後の調査において把握した状況である。
- 11 「**出生前（出産前）**」とは、各年5月までの間に出生があった場合は前々回の調査、6月から次の調査までの間に出生があった場合は前回の調査において把握した状況とする。また、「**出生前デ**
ータ」とは、出生前（出産前）の時点で把握した対象者のデータをいう。
これは、出生に係る分析においては、妊娠中における回答であるか否かに振り分けようとしたものである。

- 12 「**出生後（出産後）**」とは、出生直後の調査において把握した状況である。
- 13 「**この3年間**」とは、第1回調査から第4回調査までの間のことをいう。また「**この2年間**」とは第2回調査から第4回調査までの間、「**この1年間**」とは第3回調査から第4回調査までの間のことをいう。